

## 大田区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都大田区西蒲田8-7-1 ブランドール2F
施設名	カメラキッズ蒲田2号園

### 1 活動のテーマ

〈テーマ〉

はじめての英語ことば

〈テーマの設定理由〉

身の回りの物や日常的な行動に関心をもち、それらを指差したり言葉にしたりする姿が見られる。身近な事柄を英語で表現する活動を通して、生活と英語がつながっていることに気づき、日常の中で英語に親しむきっかけとすることを目的として、本テーマを設定した。

### 2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間で毎日実施。

### 3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

英語の歌や音楽教材・動物や身近な物のフラッシュカード・英語絵本・スピーカー・活動記録用のカメラ、記録用紙

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

フラッシュカードや実物を用いて、身近な物の名前を英語で紹介し、指差しや模倣を通して関わられるようにした。生活の中で繰り返し英語の音に触れ、自然に親しめるようにした。

##### 〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

フラッシュカードを指差しながら知っている言葉を言おうとする姿が見られた。言葉と絵を結びつける中で語彙の広がりや表現意欲の高まりが感じられ、英語の音をまねして発語する姿も見られた。子ども同士では、友だちの指差した物に興味をもち一緒に見る姿が見られ、関わりが広がっている。英語講師や保育者の言葉かけにより安心してやりとりを楽しみ、言葉への理解や表現する喜びが深まっている。



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

フラッシュカードや実物を使った活動では、子どもたちは指差しや模倣を通して英語の音に関わった。生活の中で繰り返し触れることで、身近な物と英語の結びつきを自然に体験できた。今後も日常生活と英語をつなげる関わりを意識したい。

## 大田区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都大田区西蒲田8-7-1 ブランドール2F
施設名	カメラキッズ蒲田2号園

### 1 活動のテーマ

〈テーマ〉

目標に向かって挑戦する

〈テーマの設定理由〉

身の回りの物や日常的な行動に関心をもち、それらを指差したり言葉にしたりする姿が見られる。身近な事柄を英語で表現する活動を通して、生活と英語がつながっていることに気づき、日常の中で英語に親しむきっかけとすることを目的として、本テーマを設定した。

### 2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・週1回程度実施

### 3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

平均台・マット・プールスティック・布団・ブルーシート・踏み台、段差ブロック・安全確認用マット・記録用カメラ・記録用紙

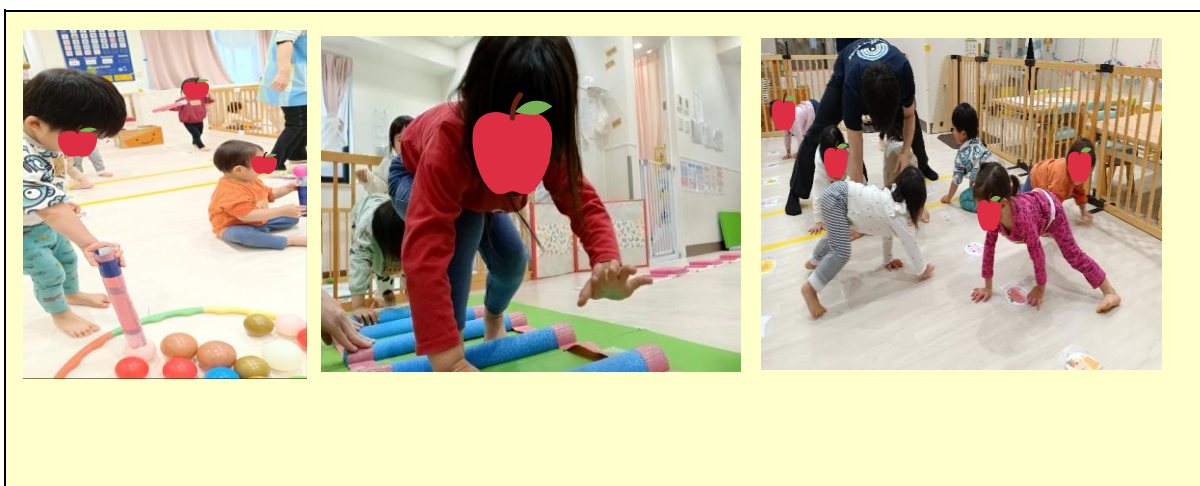
#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

高い平均台やくぐる・ジャンプなどの動きを取り入れたサーキット遊びを行った。平均台を渡る、体をかがめて通るなど、繰り返し楽しめるように構成した。サーキット講師や保育者が「ゆっくりでいいよ」「ここまで行ってみようね」と声をかけながら、安心して挑戦できるように援助した。子どもたちは自分のペースで体を動かしながら、遊びを通して達成感を味わえ

##### 〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

怖がりながらも挑戦し「できた！」と喜ぶ姿が見られた。サーキット講師や保育者に見守られ安心して取り組む中で、少しずつ自信をもって活動に参加する様子が見られた。友だちと一緒に取り組む中では、できたことを喜び合い、拍手をしたり笑顔を見せたりする姿があった。友だちの様子を見て「やってみよう」と気持ちが高まり、次の活動にも意欲的に向かう姿につながっていた。全体を通して、安心できる関わりの中で挑戦する気持ちや達成感を味わいなが



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

明確な目標を設定することで、子どもたちの挑戦意欲が高まり、成功体験が自信につながっている様子に気づいた。また、段階的な支援が子どもたちの挑戦を支えるうえで有効であることも確認できた。今後は、子ども一人ひとりの発達段階や理解度に応じた目標設定と支援を意図的に行い、主体的な挑戦や達成感をさらに促していきたい。